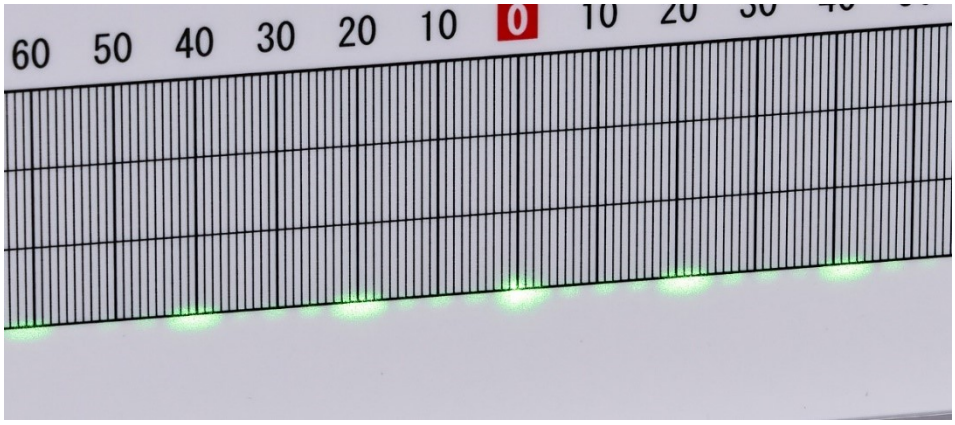
SHIMADZU
Excellence in Science

光の干渉縞観察器 FSL-C2

光の干渉縞が
はっきり観察
できる！



※レーザボックスを2mの距離に置いた時の様子

半暗室でも
はっきりと観察できる
緑色レーザ
を採用！

四種スリットを使った光の干渉実験が手軽に行えるように、レーザ装置・目盛付きスクリーン・スリット2枚がセットになっています。（収納ボックス入り）

便利なスリット
スライド用
レール付き

・緑色レーザは視認性が良いため、赤色レーザと同じ強度でも，半暗室でも観察・測定が可能です。
・レーザボックスにスリットスライド用レールがついているため，スリットの交換や移動が楽にでき、実験が容易に行えます。

・スリットはスリットの間隔が違うもの(FS-I)と、間隔は同じで本数が違うもの(FS-N)が各1枚付属しています。
・スリット幅はどちらも10μmです。

株式会社 島津理化

実験例　四種スリットによる干渉縞の観察

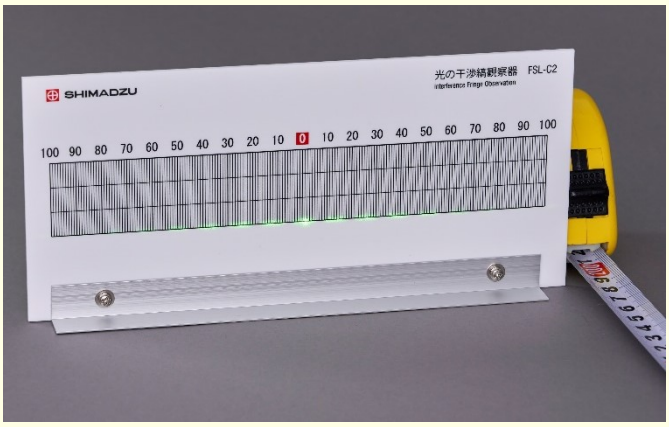
（1）人のいない方向にある壁もしくは付属のスクリーンから、1.5～2m程離してレーザボックスを設置します。距離はメモしておきます。

（2）四種スリットをスライドレールに置き、電源スイッチを（ON）に倒してレーザを直接のぞき込まないよう注意しながら、スリットの位置を調整します。

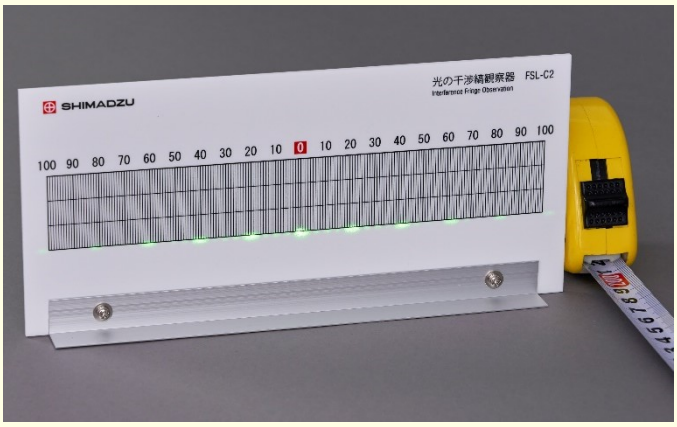
（3）レーザー光が水平になるようレーザボックスの底にある角度調整ねじを回して調整します。

（4）FS-Iを使用した場合はスリットの間隔の違いによる干渉縞（下記左）、 FS-Nを使用した場合はスリットの本数による違いによる干渉縞（下記右）を確認します。

（5）スクリーンの目盛などから、干渉縞の間隔を測定します。



FS-Iを使用した場合（レーザボックスまでの距離2m）



FS-Nを使用した場合（レーザボックスまでの距離2m）

Cat.No		128-116
品　名		**光の干渉縞観察器　FSL-C2**
価　格		**¥62,000 （税込¥68,200）**
レーザボックス	出　力	0.9 mW以下
	種　類	半導体励起固体レーザ
	発振形態	CWレーザ（連続発振）
	ビームモード	シングル
	動作環境	温度：15 ～ 35℃　湿度：80%以下（結露しないこと）
	波　長	522 ～ 542 nm
	電源スイッチ	ON: 前→倒している間だけオン／後→オン状態を保持　OFF: 中間
	電源	ACアダプタ（6V-1.8A）
	大きさ	W100×D79×H60 mm
スクリーン	最小目盛	1 mm
	大きさ	W220×D30×H100 mm
付属品	四種スリット	FS-I(間隔)×1枚　FS-N(本数)×1枚
	収納ケース	約W226×D143×H102mm　※外観や色が異なる場合があります。

JIS C 6802:2014に基づくクラス2のレーザを使用しております。

クラス毎の安全基準に従って，適切な取り扱いをお願いします。

各製品の波長・発振形態・出力，放射パターンなどをご確認の上，お客様のご使用目的に応じて適切なレーザ保護メガネをご使用ください。

目に影響を与える場合がありますので，直接または鏡面などで反射したレーザービームをのぞき込まないでください。

理科製品に関する技術的なご相談は島津理化 HP お問い合わせフォームから https://www.shimadzu-rika.co.jp/contact/index.html

株式会社 島津理化 https://www.shimadzu-rika.co.jp/

東日本営業部　東　京　TEL 03-6854-0210　札　幌　TEL 011-758-0788
仙　台　TEL 022-380-8950
西日本営業部　大　阪　TEL 06-6454-3133　名古屋　TEL 052-857-9176
福　岡　TEL 092-271-1418
理化教育事業部　TEL 03-6854-0274　海外事業部　TEL 03-6854-0261

本　社　〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32　出版クラブビル

ES-3402404-B